



## お地蔵さんは、どうしてよだれかけをかけているの

### 人々の苦しみを取り去ってくれるお地蔵さん

あなたは、お地蔵さんを見たことがありますか。お堂の中や、道のはし、あるいは橋のもとなどに、石のお地蔵さんが立っていますね。日本の各地で、これらのお地蔵さんが見られます。

昔から、お地蔵さんは、人々の苦しみを取り除いてくれると信じられてきました。そのため、なにに地蔵といって、いろいろな名前のお地蔵さんがいます。

出産や育児についてお願いするためのものには、子育て地蔵、子安地蔵、乳もらい地蔵などがあり、お地蔵さんは、子どもにえんの深い信こうの対象になっています。そのほか、農村では、田植え地蔵とか、鼻取り地蔵などが祭られています。病気がなおるようにと、お願いするお地蔵さんには、いぼとり地蔵とか縛り地蔵などがあります。

### お地蔵さんに救いを求め、よだれかけなどを供えた

昔は医学が発達しておらず、子どもの死亡率が高かったのです。病気などで死んでしまつて、手の届かないところに行ってしまった子どもの親たちは、お地蔵さんに救いを求めました。線香や花、おだんごや水のほか、子どもにえんの深いよだれかけやぼうしを供えるようにしたのです。かわいいわが子をなくした親は、お地蔵さんのめんどろを見ることで、自分の悲しみをなぐさめました。そんなわけで、お地蔵さんは、よだれかけをかけているのです。  
(監修・青木 国夫)

